

【湯井構成員】

美原の古代米プロダクツ

区内の約2割が農地であり、黒姫山古墳や菅生神社などの歴史資源が豊富である美原の地で市民と行政が協働で取り組む古代米を活用したまちづくりとして「古代米プロジェクト」が発足した。

「美原の古代米プロダクツ」は「古代米プロジェクト」を進めるうえで、古代米の生産・販売・商品化・広報を主に担う任意団体として活動をしている。

古代米の栽培を始める際には、旧大阪府立大学（大阪公立大学）との共同研究の一環として、種もみを提供していただき栽培技術の指導を受け、現在に引き継いでいる。

○生産・・・今年度からは1000㎡の田んぼを増やし、計6,000㎡2,000kgの収穫

美原区内にある障害者就労支援のお店である「サニーハウス（321カフェ）」にて、収穫した古代米を手作業にて異物等を取り除く選別、袋詰め作業を委託

○販売・・・堺市内の30事業所に、古代米を納品（ハーベストの丘農産物直売所またきて菜ほか）各事業所は、古代米の販売・オリジナル料理の提供などで協力

○商品化・・・おかゆ、おもちを「無印良品」（イオンモール堺北花田）にて販売
現在、古代米を使用したジェラートを試作中

○広報・・・古代米の販路の拡大に力を入れるとともに、区役所の古代米プロジェクト事業の1つである「農業塾」において古代米の栽培方法の指導。加えて市民を対象に募集している田植えおよび稲刈りイベントを実施しており、そのイベントには、古代米に関連する企業や団体、大阪公立大学のボランティア学生や農芸高校の学生達が参加するなど、年々大きなイベントになってきている。

他にも、毎週土曜日の美原朝市、みはら区民まつり、最近では、美原区内にある太成学院大学の大学祭などにも参加し、美原の古代米の広報とともに販売

※美原区の古代米が、農業の活性化とともに、食でつながるコミュニティとして広く周知されることで、美原区のバリューをより向上させていると考えられる。今後も、美原区ビジョンである“みんな”がつながり、笑顔になる美原区の実現をめざして、引き続き活動を進めていく